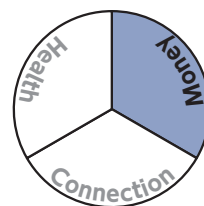


向こう1年間の市場見通し (4月8日時点)



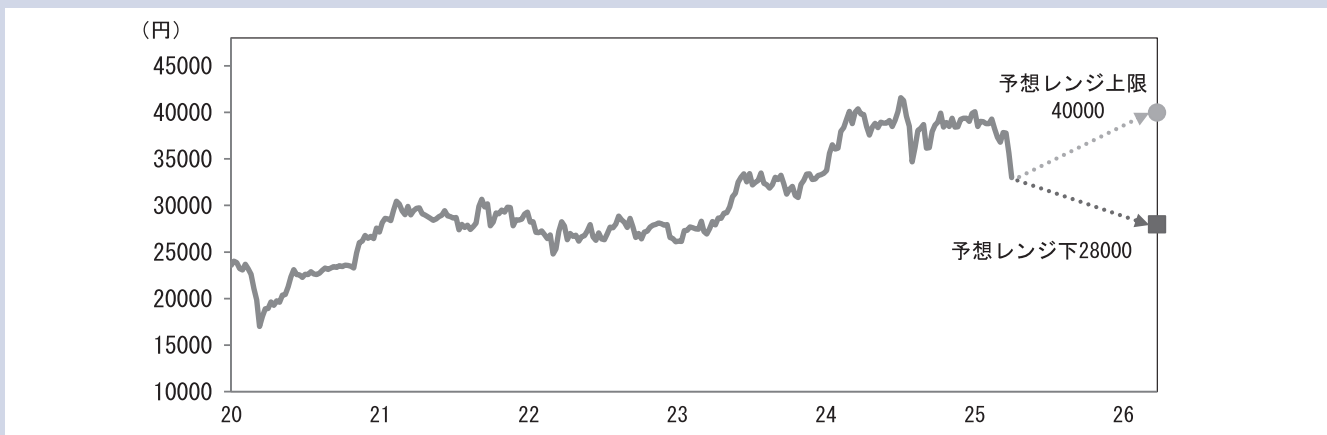
経済調査部 主席エコノミスト 藤代 宏一(ふじしろ こういち)

予想コメント

	コメント
株式	日本株はトランプ関税による世界経済への不安から大きく値を下げている。関税引き上げによる米経済への打撃を踏まえれば、米国側の態度は軟化が予想されるものの、各国との交渉には時間を要する見込み。その間、日本企業の積極的な株主還元が一定程度下値を支えると期待される。
ドル円	米国はトランプ関税によって家計消費は減速が見込まれるものの、インフレ率加速の懸念もあり、FRBは政策金利を据え置く可能性がある。米長期金利が上昇すれば、日米金利差拡大を通じた円安が考えられる。もっとも、株価急落時には短期的な円高も想定される。
金利	日銀は25年1月に追加利上げを実施し、政策金利は0.5%となった。米国の通商政策次第だが、今後も半年に一度程度の利上げが続き、26年1月までに1%へ到達する可能性がある。長期金利は日銀による国債買い入れが続く下、1%台半ばで推移するとみている。

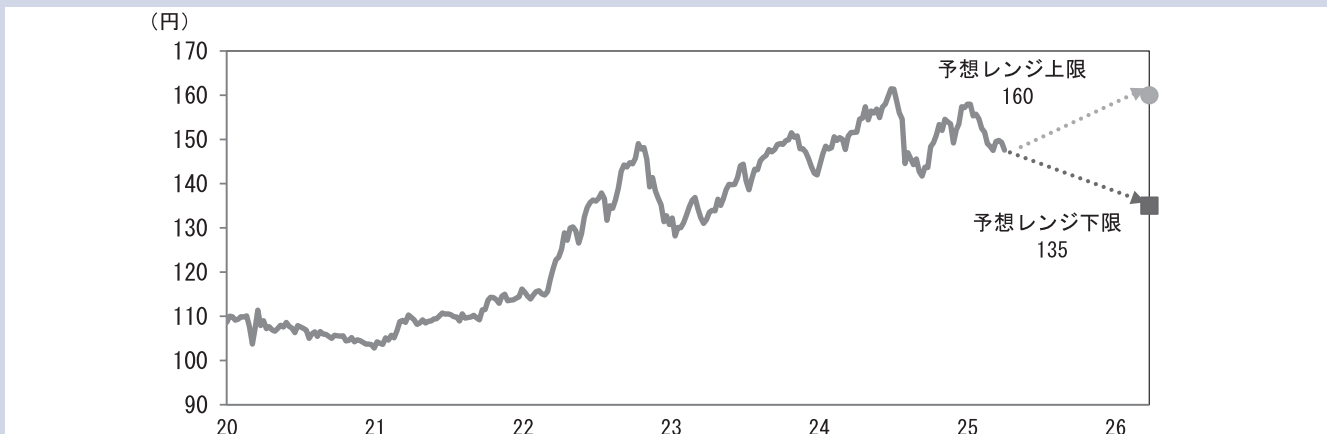
(注)記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

向こう1年間の日経平均株価



(出所)Refinitivより第一生命経済研究所作成

向こう1年間のドル円相場



(出所)Refinitivより第一生命経済研究所作成